

山行報告書

日時	2018年8月24日(金)～28日(火)		天候	晴れ
山名	南アルプス荒川岳・赤石岳			
CL	T野	参加者	N川、S木	
(コース)	<p>8/24日 15時大野城出発、九州道、山陽道、新名神、新東名を経て畑薙第一ダム臨時駐車場に25日4時頃到着</p> <p>8/25日 7時30分榎島登山口まで送迎バス、10時頃登山開始、当日宿泊先千枚小屋17時過ぎ到着</p> <p>8/26日 5時30分出発、千枚岳、丸山、悪沢岳、中岳、前岳、荒川小屋、赤石岳を経て当日宿泊先赤石避難小屋14時過ぎ到着</p> <p>8/27日 4時頃出発、富士見平、赤石小屋を経て8時30分頃榎島到着、10時30分発畑薙第一ダム臨時駐車場行送迎バスに乗り、11時頃福岡に向け出発、途中新名神のPAにて宿泊(テント及び車中泊)</p> <p>8/28日 7時頃福岡に向け出発、14時頃大野城到着後解散</p>			
(コメント)	<p>榎島登山口、空を見上げると天気回復の兆し。N川さん、S木、T野さんの隊列で登山スタート。急坂を登り始めると息が上がり、嫌と言うほど長い樹林帯が続く。水量豊富な清水でホッと一息ついた頃、N川さんの体調に異変が起こる、足がつり、気分が悪いとのこと、休憩を取り、ゆっくりペースで登り、千枚小屋に到着した。小屋から見える美しい富士山が疲れた体を慰めてくれた。N川さんの体調も回復し、ホッとしながら明日の山行に期待して生ビールで乾杯した。</p> <p>翌日は、ダケカンバの美しい並木道を歩き、ザレ場を直登すると千枚岳に到着。雲ひとつない青空に赤石岳と富士山がドーンと構えている。好天に恵まれたが稜線の風が強く時折突風が吹き、岩稜帯に入るとT野リーダーの先導で慎重に足を運ぶ。展望の良い悪沢岳、中岳の山頂を過ぎて、ザレ場をトラバースして荒川小屋に下る。雰囲気の良い荒川小屋のベンチで大休止。名物だろうか、荒川カレーが美味しかった。荒川小屋からきつい急登のあと水平道になり森林限界を越え、待望の赤石岳に到着。360度の大展望に感激。富士山と前景の山々の美しい並びの絶妙なバランスは、美しい絵を見ているようだ。今日の宿は、展望の良い頂上直下の避難小屋。人柄の良さそうなオヤジさんが対応してくれた。夜になると小屋の奥さんのハーモニカ演奏が始まり気になったが、明日の2000mの急降下を考えると早めに床についた。</p> <p>朝4時、ヘッドランプを着けて足場を選びながら急斜面を下る。岩場を慎重に通過。富士見平から尾根道を下ると赤石小屋に到着。トイレ休憩の後、ひたすら樹林帯を下り、ようやく榎島登山口に着いた(予定より早かった)</p> <p>3人でソフトクリームで無事下山の乾杯をした。</p> <p>(S木)</p>			

南アルプス

この日を待ちわびていました。

車で12時間ほど、畑薙第一ダム駐車場に到着したのは4時～5時頃だと思えます。私は後部座席で居眠りしていたのであまり気づきませんでした。高速を下りてかなり遠く数時間を要したようです。山の深さを感じます。到着時は薄曇りで時折雨が落ちていました。眠い目をこすりながら準備し、バス乗り場へ。バス乗り場には大勢の登山者が待機していました。7時30分発のバスは超満員、全員がザックを膝の上に抱いて座り15分くらい遅れて出発。舗装された細い道を進みダムを超えたあたりで停車、15分くらい待ち発車。ガタガタ道を進み台風の影響か崩落したところが所々にあり、30分くらい進むとまた停車、崖崩れのため通れない様子、まだ落石が有り危険だそうです。

30分ほど待たされて、土砂を取り除き小型のユンボがバスの横を通過、やっと開通しました。なんとか榎島ロッヂに9時30分頃到着。いよいよ南アルプス、ワクワドキドキ。10時頃出発、吊り橋はよく揺れて楽しみました。そこからいきなりの急登でかなりきつい。標高1800メートルあたりから急に足が重くなり、2000メートルあたりで目の焦点が合わなくなってきた、息苦しくなりました。

多少吐き気もして、足もつり、Tさんに足のつりに効く薬をいただいたり、アミノ酸をいただいたりしてご心配をおかけしました。2300メートルあたりでTさんが先に千枚小屋へ行って引き返し、私のザックを背負って頂く作戦になったようです。ところがその後急に気持ち悪さが取れてなんとか先に進む事ができました。Tさん、Sさん、ご迷惑をおかけしました。おかげでなんとか千枚小屋までたどり着けました。登山客も少なくご飯もとても美味しくいただきました。実は私初本州の山で初2000メートル超え、初山小屋、初高山病です。楽しくて仕方ありません。

朝は3時半頃目が覚めていました。4時30分の朝食には驚きましたが、朝日に映える生富士は最高でした。5時30分頃出発、千枚岳6時30分到着、富士の裾は雲海が広がっていました。そこから岩稜が続きましたが、展望が開け前日とは打って変わってとても良い景色で感動しっぱなしでした。そして初めての3000メートル超えを果たし丸山登頂3032m！さらに進む事25分ほどで悪沢岳登頂3141！！この辺りは比較的歩き易い稜線でした。荒川避難小屋に到着したのは9時10分頃、中岳、前岳までは稜線をたどりましたが、そこから一気に500メートルほど下って荒川小屋へ。荒川小屋のかき氷を食べ、屋前だったので少々お腹が減り荒川カレーなるものを注文、それが絶品でした。

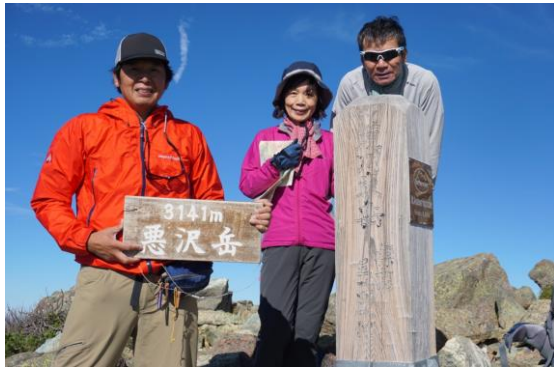
荒川小屋でゆっくり休憩し、いざ赤石岳へ。休憩後のいきなりの急登に息も絶え絶え汗もボタボタでなんとかゆるい山道へ、しかし今度はものすごい風に見舞われ帽子も被ってられない状態でした。前を歩くSさんは体重が軽いためか、風に飛ばされそうになっていました。次は大聖寺平からの急登、Tさんさすがに早い、ついて登るのがやっとでした。

小赤石岳に着いたのは13時20分くらい、そこから約50分で赤石岳山頂！14時10分頃到着、赤石避難小屋は満員状態、小屋のおやっさんが、「今日は富士山から月が出るよ」と登山客の皆さんにアナウンスされてました。おかげで素晴らしい富士と月を見る事ができました。夜は小屋の奥さんが奏でるハーモニカの音色で癒されて就寝。3時頃目が覚め4時前暗闇の中ヘッドランプを頼りに下山開始。途中から富士山がうっすらと姿を現しました。300メートルほど降ったところでしょうか、後ろを見ると赤石岳が朝日に赤く染まっており感動しました。下山開始から1時間半で富士見平到着、30分後赤石小屋で休憩をとり下山開始、樹林帯が続きとにかく下るのみ、近所の山とあまり変わり無い景色に飽きてきます。8時30分頃榎島に無事到着。

九州の山しか知らなかった私には感動の連続、素晴らしい自然を満喫しました。九州の山もとてもいいのですが、スケールが違いました。次は北アルプスに挑戦したいと考えています。

しかしTさん、Sさんの健脚ぶりは脱帽、附いて行くのがやっとでした。ありがとうございました。

(N川)



費用概算

(交通費/人)

(その他/人)

総額1人54,000円

(2016.01.27改訂)